



※この事業は、特色ある地域づくりの補助金で施工されました。

■川本支部

(支部長 武永三千歳)

川本恒例のおいしい おでん

毎年、可愛地区文化祭にかかせないものが「おでん」の出店です。川本支部は、通常の役割分担とは別に、毎年出店が求め



女性軍は店頭で販売係り、男性軍は裏手で火の番と補充係りで大忙し。

左の写真は完成後の登山道です。られ前日からの準備や当日の販売に大忙しです。女性のパワーで男性軍も引つ張られながら楽しく続けていくことが出来ました。皆さんにも喜ばれていますのでこれからも続けていければと思います。

■中馬支部

中馬支部 宮西 達一

史跡めぐりで交流

十月二十八日(日) 昨年に続

き、今年度も地元にある史跡めぐりを実施しました。中馬地域からの参加に加え可愛地区振興会の会長さんをはじめ、各支部から多くの方々の参加を頂きました。

それぞれの史跡について、松川博さん・西岡霊鬼さんのご案内説明による感動の連続で、改めて中馬には昔は人がたくさん住み随分栄えていた地域なんだという事が解り、とても有意義な史跡めぐりとなりました。

ご参加くださった方々や、お世話を頂いた皆様に心から感謝申し上げます。

皆様からのニュースを待っています。  
各支部の支部長さんか、市役所まで。  
市役所 上下水道課(四七・二二〇六)  
新川まで



30名以上の参加で、史跡めぐりに感動の連続でした。参加者のみなさんごくろうさまでした。



「湯観音さん」や峠山八幡神社など多くの史跡・神社を案内いただき中馬の歴史を垣間見ました。

■竹原支部

(支部長 玉繁 隆)

竹原支部では、今年度特色ある地域づくりの一環として、「

ふれあい交流農場」を開設しました。

地域住民の交流の輪が広がればと、毎月一回の「ふれあい作業」と一緒に「ふれあい青空市」を行いました。また、十一月の作業日には、地域の皆さんの労と収穫に感謝する為、収穫祭を行い、収穫した芋での焼き芋・豚汁・輪投げ大会で、子供から大人まで楽しい一日を過ごしました。

アンケート調査の結果、九割以上の人が「住民のふれあい交流の場となった」「これから子供と積極的に参加したい」と回答や意見がありました。私たちの来年度の活動への大きな励みになり、決意を新たにしました。

ことです。

子供たちも交えて、作業に汗を流しました。



■小山支部

(支部長 小田益也)

「若き匠」の活躍

地域の拠点を改修中、若い世代が地域で活躍している。一昨年前に新居を構えた坂田木工の坂田智宏さんは、今地域の大切な財産である集会所の増改築を請け負って奮闘中である。父の影響で大工の道に進んだ「若き

匠」は設計から施行まで全てをこなし、老朽化した集会所は平成二十年の春には葬儀や仏事、コミュニティ行事や会合を快適に行える地域の拠点として蘇り、今後益々の利用に地域住民は期待を膨らませている。いつも屈託の無い笑顔で地域の中でも人気者の仕事振りには将来を担う姿が映って頼もしい限りである。



ふれあいの出展者の活躍

福原出身 内山清登

今村雅弘

広島県立吉田高等学校百周年を迎え

「吉田高校卒業生二人展」



去る十一月十日からクリスタルアーショ一階ホールで前記の二人展が開かれた。ふるさと出身の芸術家の作品にもしっかりと目を向けてみてはいかが。